

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響と対応

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響	これまでの対応	今後の方針
<p>生活機能低下リスク上昇の懸念 外出自粛により、自主グループ・サロン等の「通いの場」活動が滞り、生活機能低下リスクの上昇が懸念されます。</p>	<p>居宅においても健康を維持するために必要な情報（運動、食生活・口腔ケア、人との交流等）をまとめ、市ホームページ等により広く周知しました。</p> <p>また、市のホームタウンチームである「FC 町田ゼルビア」と協働し、自宅でもできるフレイル予防のための運動メニューとして、町田市のオリジナルトレーニング「町トレ」から筋力トレーニングの一部を紹介しました。</p>	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を踏まえ、介護予防・健康づくりに関する普及啓発を推進するとともに、「通いの場」の立ち上げや活動継続を支援します。</p>
<p>市内介護保険事業所の経営悪化 市内介護保険事業所では、介護保険サービスの利用控えにより収入が減少する一方、マスク・消毒液等の衛生用品に関する支出が増加し、経営が悪化する傾向にあります。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた介護サービス事業所に対して、「介護サービス事業継続支援事業補助金」を創設し、事業継続のために必要な費用の一部を支援しています。</p> <p>また、衛生用品の不足している市内介護保険事業所に対し、マスク・消毒液等の衛生用品を配布・優先供給しています。</p>	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を踏まえ、市内介護保険事業所の運営を支援します。</p>
<p>サービスが提供困難となる可能性 市内介護保険事業所でクラスターが発生するなどした場合、介護保険サービスの安定的な提供が困難となる可能性があります。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症が発生した市内介護保険事業所に対する事業継続支援のため、介護保険事業所間の協力体制の構築を推進します。</p>
<p>事業拡大の意向低下の可能性 介護保険事業所の整備に関しては、介護保険事業所運営法人の経営悪化により、新規参入や事業拡大の意向が 2019 年度調査時点より低下している可能性があります。</p>		<p>地域密着型サービスの整備促進にあたっては、公募制から随時相談受付に切り替え、柔軟に対応してまいります。</p>

参考：新型コロナウイルス感染症の拡大防止による高齢者の生活等への影響に関するヒアリング

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による緊急事態宣言外出自粛期間中の高齢者の生活等への影響を把握するため、高齢者（ふれあい館来館者、シルバー人材センター、老人クラブ在籍者等）約130人に対しヒアリングを実施しました。また、地域で増加している相談内容や課題となっていることについて、高齢者支援センターに調査しました。

高齢者へのヒアリングにおける主な聞き取り内容

前向きな声	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での趣味活動等(例：手芸、民謡、絵描き、マスク作成)を充実してできた。 ・散歩や健康体操、徒歩通勤など、意識的に身体を動かすよう心がけた。 ・家族との時間を多く設けることができた。 ・粗大ゴミ整理・片付け等、普段後回しになっていたことができた。 <p style="text-align: right;">等</p>
困りごと等	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関や飲食店等の利用を自粛した。 ・運動機能や認知機能が低下したように感じる。 ・通院等の必要な外出も自粛するようになり、健康維持が困難であった。 ・食欲低下による体重減少、運動不足による体重増加があった。 ・人と話す機会が減り、声が出にくくなった。 ・外出できない期間が続き、精神的な落ち込みがあった。 ・たばこの本数が増えた。 ・生協などの宅配に欠品が多く買い物に不自由している。 <p style="text-align: right;">等</p>

高齢者支援センターで把握している影響等

増加している相談	<ul style="list-style-type: none"> ・「自宅にこもっている時間が多く、もの忘れが酷くなってきた」といった認知面の機能低下に関する相談 ・外出自粛による筋力低下に関する相談 ・自粛のストレスや介護疲れによる家族内の喧嘩、夫婦や親子間での感情のいさかいによる相談 ・ターミナルで入院又は施設入所をしている人の家族から、面会できない葛藤や機能低下の心配 <p style="text-align: right;">等</p>
認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の貸出停止や感染への不安から、地域の集まりや活動が開催できない。 ・再開できない自主グループ等が解散となるなど、社会資源が減少している。 ・外部との交流が少なくなり、情報不足になっている高齢者がいる。 ・デイサービスの利用を自粛したことにより、体力低下が見受けられる。 ・外出しづらい状況が長期化することによりフレイルが進行している ・感染拡大の長期化により、意欲を失い、孤立する人が増えている。 ・外出機会が減少し、地域の見守り機能が低下している。 ・虐待や認知症の早期発見が困難となることが懸念される。 <p style="text-align: right;">等</p>